



サイバーセキュリティの置き薬

平成30年
第1号

あなたのルータ(IoT機器)も狙われています！

IoTとは、【 Internet of Things 】の略で、『モノのインターネット』と呼ばれています。これまでインターネットに接続されてきたパソコンやスマートフォンに加えて、自動車や家電など様々なモノがインターネットにつながるようになってきています。



IoT機器とは、そうしたインターネットに接続された機器を指します。



どうして危ないの？

IoT機器は適切に取り扱わないと、利用に不都合が生じるだけでなく、インターネット経由で遠隔操作され、自分（所有者）やその家族になりすまして不正利用されたり、プライバシー情報が漏れたりして、犯罪に巻き込まれる可能性があります。

「自分の身は自分で守る。」セキュリティ対策をしないと、プライバシーが常に危険にさらされています。



【セキュリティ対策】

ルール1) 初期設定に気をつける

- 機器を初めて使う際には、ID、パスワードの設定を行いましょう。パスワードの設定では、機器購入時のパスワードのままとし、他の人とパスワードを共有しない、他のパスワードを使い回さない、生年月日等他の人が推測しやすいものは使わない等の点に気をつけましょう。
- インターネットに接続する機器のパスワードが他の人に漏れると、インターネット経由で機器が乗っ取られ、自分（所有者）やその家族等になりすまして不正利用される恐れがあります。

ルール2) 問合せ窓口やサポートがない機器やサービスの購入・利用を控える

- 問合せ窓口やサポートがない機器やサービスの購入・利用は行わないようにしましょう。何か不都合が生じたとしても、適切に対処することが困難になります。

ルール3) 使用しなくなった機器については電源を切る

- 使用しなくなった機器や不具合が生じた機器は電源を切りましょう。例えば、使用しなくなったWebカメラやルータ等をそのまま放置せず、電源をコンセントから抜きましょう。

※サイバーセキュリティの置き薬とは

富山の薬売りで親しまれている「置き薬」になぞらえて、皆さんのサイバーセキュリティ対策の助けとなる様に情報を発信していくものです。